



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



コウノトリ親子 (白石町にて/撮影：小松 常光さん)

野鳥さが247号 主な内容

- 2023（令和5）年度 佐賀県支部総会報告-----2ページ
- 役員会報告-----5ページ
- コウノトリ繁殖支援活動報告-----6ページ
- 事務局便り-----10ページ
- 各地の探鳥会報告-----11ページ
- 皆さんからのおたより-----14ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----17ページ
- 近隣地区の観察会情報&有明海の満潮時刻-----18ページ
- 探鳥会会場までの案内-----19ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2023年7月末～9月）-----20ページ



2023(令和5)年度 佐賀県支部総会報告 (事務局:島田 洋)

【日時】令和5年(2023年)6月4日(日) 午後1時～

【会場】佐賀市東与賀町 干潟公園「ひがさす」研修室

【参加者】宮原明幸、水田稔、高山昭彦、馬場清、青柳隆、青柳良子、田辺憲子、吉澤進、山崎章弘、江口富美子、秀島泉、秀島サカ枝、橋間みち子、川原直嗣、橋本泰博、明楽晴子、長岡保、植松壮一、坂田修治、蒲原留美、八木ひとみ、田中丸雅雄、大川幸子、中原正義、久富文江、坂田幸夫、島田洋

【総会次第】(総合司会 橋本 泰博)

- 1 開会
- 2 支部長挨拶
- 3 議長選出 (議長 青柳 隆)
- 4 議事
 - 第1号議案 2022年度事業実績及び同決算報告
2022年度会計監査報告
 - 第2号議案 2023年度事業計画(案)および同予算(案)
 - 第3号議案 役員体制(案)
- 5 議長解任
- 6 閉会
- 7 意見交換

第1号議案 2022年度(令和4年度)事業実績および同決算について

★ 2022年度実績報告：事務局の島田より報告した。

- ① 2022年4月から2023年3月までに33回の観察会・学習会を開催した。
- ② 会員の観察会参加者数は412名、非会員参加者数は127名であった。
- ③ 初心者・非会員対象の観察会は8回開催した。
- ④ 九州沖縄ブロック大会は新型コロナウイルス感染症ため中止となった。
- ⑤ 「シギチ祭り」は「ひがさす」と共催で行った。
- ⑥ 佐賀市からの委託でカラス調査を行った。
- ⑦ 佐賀市からの委託での野鳥調査を開始した。
- ⑧ 「鳥栖・麓公民館」の依頼で観察会にリーダーを派遣した。
- ⑨ 大詫間公民館の依頼で「ツバメのねぐら観察会」を共催した。
- ⑩ 「黒髪山を守る会」との連携で行事を行った。
- ⑪ 「コアジサシの営巣地作り」に取り組んだ。「ひがさす営巣地」と「諸富浄水場跡」の2カ所である。 諸富の営巣地では支部総会までの間に25羽が巣立ちした。
- ⑭ 「ブッポウソウの巣箱設置」に取り組んだ。富士町や三瀬に18個設置した。残念ながらまだ繁殖実績は無い。
- ⑮ 白石町でコウノトリが電柱に営巣した。 3羽のヒナがかえったが、カラスに襲わ



れた。残念な結果に終わった。

- ⑯ 再度の営巣を期待して、九電工や馬場鉄工所の協力で巣塔を 1 基設置した。
- ⑰ カササギの保護に取り組みたい。 2023 年 1 月に勉強会を行った。
- ⑱ 愛鳥モデル校 2 校で指導を行った。
東山代小学校（伊万里市）、富士小学校（佐賀市）
- ⑲ 物資販売事業に取り組んだ。
- ⑳ 支部報「野鳥さが」の定期発刊に努めた。
- ㉑ 傷害保険・損害賠償保険に加入している。
- ㉒ 佐賀市からの委託で「カラス調査」を年 3 回行った。
- ㉓ 自然保護監視員・自然公園指導員に佐賀県支部から数名ずつが登録されている。
- ㉔ 環境サポーター・地球温暖化防止推進員にも数名が登録している。

★ 2022 年度決算報告

- ① 会計担当の高山昭彦氏より決算報告があった。資料を参照して下さい。

★ 2022 年度会計監査報告

- ① 会計監査担当の江口富美子さんより収支管理状況は適正との報告がなされた。

★ 質疑応答

Q：決算書で「謝礼」とあるのは具体的には何でしょうか？

A：ガンカモ調査に対する謝礼です。

★ 補足説明

- ① 繰越金が増えているのは、来年の 30 周年記念行事にあてるためです。

★ 賛成多数により第 1 号議案は承認された。

第 2 号議案 2023 年度事業計画（案）および同予算（案）

★ 2023 年度事業計画案：事務局の島田より報告した。

- ① 観察会などの企画充実を図っていく。
- ② 定例観察地を佐賀県内各地に広く展開していきたい。
- ③ 非会員対象の観察会をできれば毎月開催したい。
- ④ 調査研究活動を強化する。
- ⑤ 佐賀県・佐賀市など行政、バードリサーチなどからの調査依頼に対応していく。
- ⑥ 九州沖縄ブロックの運営に参画して連携を図る。
- ⑦ 佐賀野鳥の会、黒髪山を守る会など各友好団体や行政との連携を発展させたい。
- ⑧ 野鳥・野生生物の保護、環境保護に取り組んでいく。
- ⑨ 「コアジサシ・コウノトリの営巣」「ブッポウソウの巣箱」の管理を継続する。
- ⑩ カササギの保護については、九州電力などとも話し合い、活動のあり方を探る。
- ⑪ 密漁や違法飼育防止に取り組みたい。
- ⑫ 愛鳥モデル校などを通じて、愛鳥・自然保護意識の啓発活動を強化する。
- ⑬ 鳥獣保護区の新設など行政からの要請があれば協力していく。
- ⑭ 「オスプレイ」の問題については、具体的にになった段階で「ラムサール登録湿地の上空は飛行しないよう」申し入れる。
- ⑮ 会員拡大に取り組む。



- ⑯ 広報活動・普及活動を充実する。
- ⑰ 支部報発刊・ホームページの充実を図る。
- ⑱ 物資販売事業の充実を図る。
- ⑲ 2024年には「佐賀県支部創立30周年行事」を計画している。

★ 質疑応答・提案・意見交換

Q: 鳥獣保護区の新設などが、実際にあるのか？

A: 連絡があれば協力していく。

Q: 「オスプレイ」については、どう対応するのか？

A: ラムサール登録地の上空の飛行はひかえるように申し入れします。

Q: 密猟に対しては何か活動しているのか？

A: メジロの違法飼育に関しては佐賀県の支援課に申し入れをしている。

Q: ペットショップで「メジロのエサ」というのが販売されています。

A: 「メジロのエサ」というのは、商品名でしょう。販売に関しては、介入できない。

Q: 会員拡大についての取り組みはどんなでしょう？ 若い人の入会を期待したい。

A1: 会員が増えているのは、愛知県、茨城県、そして佐賀県の3県だけです。

A2: 最近の新しい入会者は、ホームページからの入会が多いようである。

A3: マスコミなどを通じて広報活動をさらに活発にしていきたい。

★ 2023年度予算(案)報告

- ① 高山昭彦さんより報告があった。資料を参照して下さい。

★ 賛成多数により第2号議案は承認された。

第3号議案 役員体制

★ 役員体制の一部変更

- ① 永島博さんが、都合により役員を退任された。
- ② 会計監査は、田辺憲子さんと青柳隆さんのお二人とする。

★ 賛成多数により第3号議案は承認された。

議長解任

★ 議長の青柳隆さんが任を終了した。

意見交換・情報提供

- ① プラスチックゴミが大きな問題になっている。馬場清さんから資料が配付された。
- ② 平日の探鳥会というのも企画してみようか。
- ③ 海苔養殖の支柱には、フジツボがつく。ユリカモメはこれを食する。
フジツボがつくのを防ぐために支柱には「輪っか」が着けられている。この輪っかが上下してフジツボを取り除く。近年は「輪っか」が2つ着けられている。
支柱につくフジツボが激減した。支柱でエサをあさるユリカモメが見られなくなった。
- ④ 海苔の収穫では、野鳥の羽やプラスチックゴミが混じるとこれを除去せねばならない。
大変な作業であり、収入にも影響する。
- ⑤ 「E bird」というアプリがある。世界最大の野鳥観察データベースである。
これを活用しよう。

閉会・解散

- ① 午後 3 時半頃、支部総会は終了した。

まとめ

- ① 総会では活発な質疑応答・情報提供があった。
- ② 佐賀県支部は今後とも野鳥保護・環境保護をさらに充実強化していく。



役員会報告

(事務局: 島田 洋)

【日 時】 2023 年 5 月 28 日、6 月 4 日

【出席者】 5/28 : 11 名 6/4 : 役員 17 名 + 数名の支部会員

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) コウノトリの営巣について

- ① コウノトリ営巣見守りシフトを組んだ。
- ② 6 月 5 日に営巣に関してプレリリース。 6 月 13 日にヒナの足輪つけ。
- ③ ヒナ 2 羽が、成長しつつある。(注 : 7/20 現在すでに巣立ち済み)

(2) コアジサシについて

- ① コアジサシの繁殖は順調である。 100 羽位巣立つかもしれない。
- ② 諸富営巣地は、佐賀市から期間限定で使わせてもらっている。
- ③ 8 月末にはシェルター、デコイその他の片付けしないといけない。8 月 26、27 日に午前 8 時頃から後片付けをする。 役員・会員の協力をお願いしたい

(3) ツバメのねぐら観察会日程

- ① 8 月 27 日 ② 9 月 10 日 : 初心者向け観察会

(4) 支部役員の活動手当

- ① これまでの役員の活動手当は、明確な基準がなかった。
- ② 今日の役員会で、下記のような基準額が示された。
- ③ 県や市からの委託事業 (モデル校、佐賀市野鳥調査、カラス調査)
出動一回あたり、2500 円
- ③ それ以外の活動 (ブッポウソウ、ガンカモ調査など)
出動一回あたり 1000 円
- ④ 観察会のリーダーは一回あたり 1000 円
- ⑤ 一部、未定の活動もある。

(5) その他、来年の支部創立 30 周年行事、今後の探鳥会などについての協議を行った。





コウノトリ繁殖支援活動報告

(支部長:宮原 明幸)

昨年、白石町で繁殖に失敗したコウノトリのペア今年も来てくれました♪
 昨年は孵化1週間でカラスの捕食に遭い、産まれた3羽の子は巣立てませんでした・・・
 来年こそは！と支部ではコウノトリ飛来前から準備をはじめました。
 サントリー愛鳥基金へ『コウノトリ繁殖支援事業』助成金を申請、2022年12月に受理
 され、150万円(申請金額全額)の助成を受けることが出来ました。

2022年11月29日 ・人工巣塔設置

この時点では「サントリー愛鳥基金」の結果は分かりませんでした
 が、前倒して、前年巣を掛けた電柱横に巣塔設置。巣塔設置の場所は
 白石町町有地を無償借受け。 巣台は作成を発注した神埼の
 「馬場ボディー」様が寄贈して下さいました。



昨年の営巣電柱横に巣塔を設置

2023年3月3日 ・「朝倉コウノトリの会」よりコウノトリ2羽

(昨年のペア)が朝倉で合流し佐賀方向へ飛んだと連絡が入る
 「朝倉コウノトリの会」は近年10羽強が越冬に訪れる福岡県朝倉
 市で立ち上げられた団体で、昨年も色々アドバイス頂きました。

「朝倉コウノトリの会」でも人工巣塔を設置し繁殖誘致の取り組み中で、コウノトリ♂
 (ナル)が巣塔近くで過していましたが、♀133は所在不明でした。

3月4日 ・コウノトリ飛来確認 白石人工巣塔横のハス田で♂ナル、♀133のペア
 確認♪ 正直、今年ペアが白石へ来てくれるかは半信半疑でした。 朝倉の巣塔近くで
 ♂ナルが越冬中と聞いてましたので半分諦めていました。

3月5日 ・人工巣塔付近でクラッタリング確認 クラッタリング(クチバシを打ち鳴
 らす)は求愛行動です♪ 繁殖の確率が大きく上がりました♪

3月9日 ・人工巣塔周辺へ巣材用の枝・藁を置く
 巣塔へ誘致するため巣材用の木の枝や藁を山積みして置きます。

- ・旧堤防北側電柱への巣材運び確認。 人工巣塔より北西500m旧堤防北側の電柱、
 巣材は上手く乗らず苦戦しています。11月に設置した人工巣塔ではハシボソガラス
 が先に営巣中でコウノトリは諦めた模様？

- ・人工巣塔横の溝浚渫工事はじまる。

3月10日 ・九電問い合わせ 旧堤防北側電線は高圧の電流が通っているため(停電し
 たら白石町の半分に影響)巣を掛けたら落とす回答

3月11日 ・新たに西へ5本目の電柱で巣作り開始
 上手く枝が乗せれず、風で全て落ちます。経験不足かな？

3月12日 ・人工巣塔横、昨年の電柱の隣りへ2羽で巣材運び込み

3月13日 ・新観音へ2羽移動、遠江電柱へ巣材運び
 新観音・遠江は人工巣塔より直線で2km程北西方向

3月14日 ・九電と相談 「巣を撤去しなければいけないなら、枝をおいた時点で落と

して下さい」と依頼

- ・人工巣塔横電柱に戻り巣作り再開・新観音の電柱へも同時に枝持込み
営巣場所は確定してなく、何ヶ所か試みて上手く出来た処を使うのかな？

3月15日 ・人工巣塔横の電柱で交尾確認

新観音の電柱の巣材は、毎日九電が撤去。人工巣塔横の浚渫工事、重機が入り人の出入りも頻繁になる。（白石町へ巣が完成するまで工事を止めて欲しいと申し入れるも却下される） ※人工巣塔横電柱への営巣は諦めた模様。

3月16日 ・諦めず新観音で挑戦、九電とのイタチごっこ

3月17日 ・九電、新観音の電柱横支柱へカササギ用巣台を設置、誘導試みる
九電さんも、なんとか繁殖が成功するよう協力・努力してくれています

3月19日 ・新観音、電柱北へ3本移動し巣作り

毎日毎日落とされても、この場所に執着します！ 人工巣塔横は直ぐに諦めたのに

3月21日 ・春分の日で九電お休み コウノトリ1日で巣の形を完成させる

コウノトリは特別天然記念物指定です、巣の形を成せば勝手には落とせません
（県文化財課へ許可申請が必要）

3月22日 ・九電と交渉、巣は落とさず漏電防止カバーを付ける・・・これで一安心♪

既に巣には産座まで完成しています。コウノトリペア突貫工事でよく頑張りました！

3月23日 ・役場より連絡 九電がバイパスを通してくれるとのこと

有り難い申し入れですが、バイパスは電線を巣の下側へ迂回させるとの事。
工事を嫌っての放棄が危惧されます

3月24日 バイパス工事 9時前より開始、14時終了 コウノトリ遠巻きに工事を見てましたが諦めたのか居なくなり、この日は戻りませんでした・・・

3月25日 ・2羽戻っているのを確認！・・・安堵

3月27日 ・産卵した模様？



3月30日 ・2卵確認

3月31日 ・白石町 監視カメラ設置 孵化の日にちを確認するためです。

孵化後約43日を目処に足環を装着します。コウノトリの立ち振る舞いを画像で判断します・・・それより確かな私達野鳥の会の目があるのですがネ！

4月2日 ・3卵目確認

4月9日 ・4卵目確認

抱卵中は、時間の取れる会員で様子見を続けました・・・ほとんど空くことは有りません！

4月22日 ・監視小屋設置 近くの農家さん横の町有地にプレハブの小屋とトイレを置き、孵化後の見守りの準備をします

4月27・28日 ・周辺麦畑 ドローンでの薬剤散布（コウノトリへの影響 小）

ドローンは低空で飛んだので、さほど警戒しませんでした。ただ薬剤の鳥への影響は別問題です！

5月 1日 ・雛2羽の孵化確認 （ドローン使用して上空から確認）



- ・3交代での見守り開始 この日よりカラスの捕食から雛を守ります。見守りは3交代、4時30分～10時、10時～15時、15時～暮れる迄、会員17人で回します！カラスへの対応は、「猟友会のベストと帽子」を身に纏い「だまくらカラス」を鳴らし「レーザーポインター」で追い払います！

①猟友会のベストと帽子（鉄砲でのカラス駆除に遭ったことの有る個体は、ベストと帽子を覚えていて逃げるそうです）

②だまくらカラス（カラスの危険！逃げろ！警戒！等の鳴き声を流す器機です）

「だまくらカラス」は㈱クロウラボ様より、本来有料リースですが今回は無料で提供頂きました♪

③レーザーポインター（レーザー光が身体の当たると光を嫌って逃げ出します）

5月 2日 ・3羽目孵化確認

5月 4日 ・4羽目孵化確認 全卵、無精卵も無く孵りました♪

5月 5日 ・雛の頭が巣の上見え出す♪

5月 14日 ・監視小屋電気工事 やっと電気が通りました

- ・親鳥伏せなくなる 体温調整等の保護が必要ない状態まで育ったのでしょう、親鳥は立っています♪

5月 15日 ・1羽落鳥（体長25cm、1番目か2番目の雛と考えられる）クチバシに大きなカエルをくわえたまま巣の下に落ちていました、カエル飲み込もうとして落ちたか、他の雛に押されたか？ 事故と考えます。



ヒナは3羽になる

5月 15日 ハス田ドローン消毒（みナルが反応、ドローンへ攻撃）抱卵中はドローンに反応しませんでした、子育て中は警戒レベルが上がるのでしょうか？

5月 17日 ・親鳥2羽同時に巣を空け出す

雛だけで天敵より防衛出来るまで育ったか？ 2羽で運ばないと餌が足りないのか？

※ 両親が巣を離れた時は1本隣の電柱で待機しカラスに備える

5月 19日 ・親鳥留守中、ハシブトガラス8羽来襲・・・親鳥が直ぐ戻りカラス退散

5月 23日 ・ハシブトガラス50羽程押し寄せ、レーザーポインターで追い払う（親1羽が巣上）

5月 24日 ・しばらく見張り2人態勢に強化

5月31日 ・2羽目落鳥（体長80cm、体重1,440g）雨で冷えたか？ 親鳥、死体を巣外へ排除 前日より、夜通し降った雨で身体を冷やしたか？

6月5日 ・白石町 プレリリース

6月5・6日 ・電柱ケーブル移設工事（足環装着に備え） 高所作業車の作業の障害となる線を移動。 1時間程で終わりコウノトリへの影響は小さい。

6月13日 ・足環装着（コウノトリの郷公園職員により実施）コウノトリ個体識別の足環を装着。 今後雛鳥2羽の行動が特定管理されます。同時に羽毛と血液を採取・雌雄を調べます。巣に戻された2羽は、緊張警戒し暫く伏せてましたが親鳥も戻り、何事もなかったかのように過ごしています。

6月14日 ・羽ばたきの練習初める

6月23日 ・性別判明 先に孵った大きい方♂ 末っ子♀

6月30日 ・羽ばたき、巣上へ少し跳び上るように

7月4日 ・羽ばたき、空中へ少し飛び上るように

7月8日 ・雛♂巣より飛び立ちUターンして巣に戻る

7月9日 ・雛♂午前6時13分 巣立ち

コウノトリの巣立ちの定義は、巣から飛び立ち地上に降りた瞬間だそうです。他の鳥類は巣立ち後、巣に戻ることは2度とありませんが、コウノトリは巣に戻り時に使ったり、巣上で親鳥から給餌を受けます。この日も巣立ち♂雛は巣に戻りました。

7月11日 ・雛♀12時13分 巣立ち

7月14日 ・雛の愛称発表 ♂シロ ♀カノン

町が町民より愛称を募り愛称を決めました。応募は200以上あったそうです。

7月17日現在 親子4羽は、巣を中心に少しずつ行動域を広げながら採餌をしています。まだまだ親は吐き戻し（給餌）をしています。やがて独り立ちするでしょう。

※今回の見守り中「だまくらカラス」を鳴らすことは1度もありませんでした！

（50羽来襲の時は失念してましたが）新観音・遠江のこの場所に強く執着したのはカラスが少ないからかも知れません？ 1km南の牛小屋には常時100羽150羽のカラスが屯しています。 去年の巣は牛小屋から直ぐでした。



足輪装着のためヒナを確保



足輪装着後のヒナ



巣立ち直後のシロ



親子団らん中



今後の活動予定

人工巣塔を、この度営巣した電柱の近くに立てます。 本当は今の電柱の巣をそのまま残せば、来年以降も使い続けるらしいのですが、九電は台風で巣が落下するリスクもあり落とします。 バイパスも元に戻すそうです。 九電様には、ここまでご配慮頂いた上に、さらなる負担をお願いする訳には行きません。

♂ナルと♀133のペアは、来年も再来年も（高い確率で）どちらかが落鳥するまで白石の地で繁殖を続けるでしょう。 ♂ナル♀133のペアだけじゃなく、巣立った♂シロ♀カノンが3年後連れ合いと一緒に帰って来れる様、その時に向け、白石の環境維持と改善を、町と協議して行きます。

この度の九州初の繁殖成功は、裏に表に関わられた沢山の人達の温かい思いのお陰です。 サントリー愛鳥基金様、馬場ボディー様、クロウラボ様、九州電力武雄配電事業所様、白石役場生涯学習課様、地域の皆様、それと孵化から巣立ちまで毎日休むことなく見守って来た会員の方々、コウノトリの親子に成り代わり感謝・感謝！

（記事内の写真提供者：水田 稔さん、八木 ひとみさん、加藤 芳隆さん、秀島 泉さん）

※佐賀に来た「コウノトリ」《なる君 家族日記》公開中

佐賀県支部のホームページで白石町で巣作りから繁殖、子育てを行ったコウノトリ一家の巣立ちまでを公開しています。大変詳しく紹介されています。ぜひともご覧ください。

支部ホームページアドレス <https://www.yacho-saga.org/> 内の

【佐賀に来た「コウノトリ」】をクリックしてください。



事務局便り

（事務局：青柳 良子）



(1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 246号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

5月入会者 2名（うち家族会員1名） 6月入会者 1名

7月入会者 6名（うち家族会員1名） 8月入会者 2名（うち家族会員1名）

佐賀県支部の会員は現在266名です。

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されていない方もいらっしゃいます。

是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もおられます。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通してどんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。



私たち一人一人の数が！
みんなの出し合う会費が！
自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。
お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？是非お誘いください。野鳥の会は「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

(2) コアジサシ営巣地の後片付けを行います

8月26日・27日の2日間でコアジサシ営巣地の後片付けを行います。

8月26日(土) 8:00～ 8月27日(日) 8:00～

集合場所は佐賀市諸富町の浄水場跡地です。

仕事はネット、シェルター用レンガ土管、デコイなどの撤去です。人手は、多いに越したことはありません。時間の取れる方(都合の良い時間・短時間でもOK)お手伝いをお願いします。

ご質問などありましたら 支部長 宮原明幸：090-2507-7085 まで
お気軽にお問い合わせください。

(3) (公財) 日本野鳥の会より『厳木道の駅・風のふるさと館』へ感謝状

「厳木の道の駅・風のふるさと館」は開店以来20年に渡り、ツバメの巣を温かく見守って下さっています。

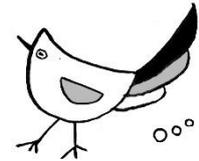
7月14日に鍵山店長へ(公財)日本野鳥の会・上田会長名で感謝状が贈られました。

「当たり前のことをしてるのに、感謝状が貰えるとは感激です。毎年毎年ここに帰って来て子育てするツバメを見るのが楽しみです。」と話されていました。





各地の探鳥会報告



■蓮池公園～コアジサシ営巣地探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年5月14日

【参加者】会員22名（案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】アオサギ、マガモ、カルガモ、クサシギ、ソリハシシギ、コアジサシ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、セッカ、シジュウカラ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス（21種）

【案内役より】

蓮池公園を回った後、諸富浄水場跡地のコアジサシ営巣保護地を身に行く探鳥です。公園内には鳥が少なく残念な状況ですが、カササギの子連れに会えました。コアジサシの営巣地は孵化の確認出来ませんが抱卵中は30巣強です。今年は100羽巣立ちも期待出来そうです。またチョロチョロ走り回るコチドリの雛に「可愛い！」と歓声が上がっていました。カササギの子連れが珍しいと言う日が来るとは・・・

■黒髪山・竜門峡探鳥会報告（有田町）

【日 時】 2023年5月21日

【参加者】会員17名（案内役：馬場 清）

【観察された野鳥】キビタキ、オオルリ、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、コゲラ、ウグイス、ソウシチョウ、サンショウクイ、ハシブトガラス、カワウ、アカショウビンの声（12種）

【案内役より】

6時過ぎ有田町竜門ダムサイトに着きました。周回道路をゆっくりと進む。ここの水汲み場の付近は以前サンコウチョウが営巣した所です。聞き耳を立てて、しばらく待機する。鳴き声はソウシチョウとウグイスが盛んに鳴いております。少し奥の山路へ移動する。ここも同じ鳴き声ばかりです。ダム湖にはカワウが潜水しエサを求めている姿が見られた。途中では数名のウォーキング方と会った。竜門山の家駐車場に着く。周りの山塊を見渡すが鳥の姿はない。鳴き声はソウちゃんばかり。一瞬アカショウビンの鳴き声でした。やっぱり来ている、居るのだと確認した。受付を準備し、野鳥の会のノボリを掲げる。暫くして車が入って来る。顔見知りの方々が降りて来られた。14、5人のかたが集まりました。友好団体の黒髪山守る会のYさんだ！彼は黒髪山をこよなく愛する人で、希少植物のクロカミラン、シライトソウ、カネコシダなどの保存活動を精力的にされております。また、山中に巡り点在している弘法大師空海の石仏群を研究し、先般「黒髪山へんろ道」の冊子を執筆し出版された人です。いよいよ出発です。15名でキャンプ場へ入る。鳥影が見えた。高い若葉が茂った



木々を飛び回る。 スコープでは無理。 双眼鏡で追いつけるヤマガラとシジュウカラを確認した。 キャンプ場を巡る中、アカショウビンの声がした。 全員の足が止まった。 静かに鳴き声の方を注視するが姿を観る事は出来なかった。 新しい砂防ダムがある。“守る会”のYさんより説明をしてもらう。 そこは工事前は希少植物の自生地で貴重な水辺だった。 人間エゴの開発によりコンクリートの塊になった。 悲しい限りです。 谷川を渡り、下って登山路へ出る。 ここは数年前はサンコウチョウ、アカショウビンが飛び交う絶好の場所でした。 新緑の枝葉に見え隠れするコゲラ、サンショウクイ、ウグイスを確認。 大きな岩窟があり、弘法大師の石仏が祭られている、丸い橋で記念写真を撮る。 更に上り始める。谷川の水もひんやりして心地良い。 今日、我々が目指す予定の観察地は、20数年前に支部の観察会でヤイロチョウが観られた所です。 しかし、鳴き声も鳥影もなく、時間も経過したのでここで引き返すとなりました。 今も山奥ではヤイロチョウの鳴き声は聞くことができると情報を頂き、次回の楽しみにします。 全員が無事に山の家駐車場に下り着きました。 お疲れさまでした。



ヤマガラの巣立ちピナ
(親がえさを与えていた)



オオルリ
(写真提供：馬場 順一さん)



タツナミソウ

■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

【日 時】 2023年6月11日

【会 場】佐賀県立森林公園 → 諸富浄水場跡地 → 蓮池公園 (佐賀市)

【参加者】非会員1名 (会員スタッフ：7名)

【観察された野鳥】(森林公園) キジバト、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス (諸富浄水場跡地) アオサギ、コアジサシ、コチドリ (蓮池公園) コサギ、アオサギ、キジバト、ドバト、ツバメ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス

【案内役より】

今回は、森林公園での非会員向け観察会でした。天候は晴れ。 9時前になって、

非会員の男性が受付に来られました。福岡市からの参加です。「カササギを見たいです」とのリクエストでした。森林公園を少し歩いてみますが、カササギはおろか野鳥の姿は、ごくわずか。昔は森林公園ではカササギは、いつでも観察できたのに、最近はほとんど見かけません。移動しましょう。車でまずは、諸富浄水場跡へ。コアジサシの営巣地です。日本野鳥の会佐賀県支部の頑張り地域との協力で、今年は順調に繁殖しています。非会員の方にはたっぷり観察してもらいました。そして蓮池公園へ移動。公園内でようやくカササギに会うことができました。公園のすぐ近くの畑にムクドリ、そしてカササギもいました。今回は、移動しつつの観察会となりましたが、楽しんでもらえたと思います。



皆さんからのおたより



● 「ツバメチドリ飛来 in 佐賀空港」・・・山田 茂さん（大川市）

6月18日にツバメチドリ8羽が、佐賀空港西側の畑地帯に飛来しました。奇しくも、昨年も同じ日に、同じ畑でした。昨年は、最初2、3羽ほどだったと思いますが、観察しているといつの間にか30羽ほどになってました。9月一杯は確認しましたが、チュウヒ、ノスリ等の猛禽類が現れるようになったのが原因か？10月以降は確認出来なくなりました。

この日は、午後から佐賀空港周辺を探しましたが、姿を見ることが出来ず、佐賀空港道路から西側堤防へ向かう手前の車道付近で休憩していると、アマツバメのような鳥が上空を素速く飛び交っているので、もしま？！とっていると“クリリッ”と鳴き声が聞こえたので“ツバメチドリ”と確信しました。遠くで飛ぶことが多く、カメラに収めることが出来ず、諦めて農道を通って帰っていると、畑に8羽が降りて翼を休めていました。飛来したばかりの疲れか？長い間じっとしていました。

今年、やっと出会えました。今は工事があちこちであって、焼き畑もしているのですが、昨年と同じ、長く居て欲しいものです。



●「白石コウノトリ“ナル君”の故郷を訪ねて」・・・青柳 良子さん（小城市）

雨にもマケズ ブッポウソウ・コウノトリ（白石に来た“ナルくん”のお父さん）・ヤイロチョウ（お話を聞いただけ）を訪ねる旅はとても有意義でした。

特に、徳島のコウノトリは毎年同じ巣でヒナを孵すとのこと。その電柱を電力会社から買い取って「巣専用」にしているとのこと！白石町役場の人もその話は聞いていると思うのでこれからどうするのか気になります。

おまけに寄った動物園では「動かない鳥」で有名な「ハシビロコウ」に会ってきました。ちょうど閉園まぎわだったので、飼育員さんが後始末に来たこともあり「慎重に歩く姿」や「羽ばたく姿」なども観ることができ、ハシビロコウのイメージが変わりました(*^_^*)最後に「牧野植物園」！私には時間が足りず（一日がかりで見たい！）と思いました。



（写真提供：水田稔さん）

←ブッポウソウ観察小屋

エサを運ぶブッポウソウ→



徳島のコウノトリ・アサヒ
（白石のナル君の父親）



動いた！ハシビロコウ
（高知・のいち動物公園）



蛾の仲間・サツマニシキ
（高知・牧野植物園）

●「カメラでウォッチング from “OUTI” Part5」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

【棚田のユウスゲ】夕方近くになり黄色いユリの様な形の花が棚田で風に揺れていた。

もうしばらくは楽しめそうだ。（7/14）

【コウノトリ】県内で子育てしているコウノトリ。野鳥の会の方の保護・監視中で営巣場所も秘密だった。地元紙や同新聞デジタル版にも載ったからもういいかなと出かけてみた。同会会員の方の奮闘のおかげで今年は2羽の雛が巣立ち目前。親鳥の目の周りは歌舞伎役者の隈取りよろしく眼光鋭い。親は獲ったエサ（魚？）を運んでは、また、エサ獲りに行く。（7/8）

【アオバズク】今年も南の国からアオバズクというフクロウの仲間が子育てのために県内にも来ている。ハトくらいの大ささかな？子育てできる大きな木がなくてカラスの



襲撃にも難儀している。 昼間はジッとしていて夕方から虫を獲りに出るようだ。

(6/24)



棚田のユウスゲ



隈取り？



コウノトリ雛



←コウノトリ親

アオバズク→



【ジャガイモの花】この紫色のジャガイモの花はグラウンドペチカという品種で、芋の表面が紅くマダラでプロレスラーの覆面に見える（？）から通称デストロイヤーで通っている。 民間育種家の俵正彦氏が25年もの歳月をかけて育成されたという。(6/7)

【デストロイヤー】覆面プロレスラーを思わせる柄のジャガイモ「グラウンドペチカ」。愛称が「デストロイヤー」。 真ん中のものが似ているようだ。(6/24)

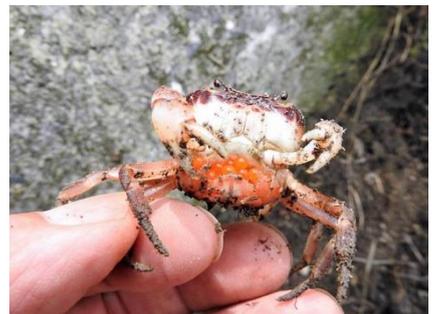
【サワガニの卵】トラクターで耕せない田んぼの隅をクワで掘っていたら砂まみれのサワガニが出て来た。何と、イクラみたいな卵を抱えていた。まさにカニタマだ。(6/16)



ジャガイモの花



デストロイヤー



サワガニの卵

【ヤマガラ】 陽光桜の木にヤマガラが来た。(3/31)

【ミサゴのカップル】 今年寒波のせいか巣作りが遅れている様だった。 子育ても少し遅れるかも知れない。(3/29)

【ミツバチ】 色んな花が咲き無数のミツバチが来て凄いい音を立てている。ブーーンと響くような音に聴こえる。働きバチの命は30日くらいという。(3/24)



ヤマガラが陽光桜に来た



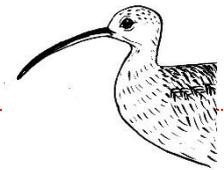
ミサゴのカップル



ミツバチ



皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

★今日の大授搦（東よか干潟）

【5月20日】シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、ヨーロッパトウネン、トウネン、キリアイ、ウズラシギ、ハマシギ、サルハマシギ、コオバシギ、オバシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アオアシシギ、タカブシギ、ソリハシシギ、キアシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ツクシガモ、ホシハジロ、スズガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ミサゴ、ハヤブサ

■秀島 泉さん（多久市）

6月29日 【みやき町白坂公園】コジュケイみと思われる。 ※カワガラスに会いに行こうと思って山田水辺公園に行ったのですが、大雨の後で川が増水しており、あきらめて近くの白坂公園に期待薄で行来ました。着くとすぐに山鳥の♀らしき鳥さんが逃げていきました。しばらく車内で待っていると、コジュケイが前の倒れた木に乗って羽づくりをいたしました。ラッキーでした。周りの景色も雨に濡れていてキラキラと輝いていて、コジュケイがこんなにきれいだったとは認識を新たにしました。



～野鳥さが原稿募集中～

- ① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。
- ② 投稿・ご意見などをお寄せください。（編集部：馬場順一）
〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649
(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



● 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：8/6 (日) 9/3 (日)
- ・福岡市大濠公園：8/12 (土) 9/9 (土)
- ・筑紫野市天拝山：8/20 (日) 9/17 (日)
- ・春日市春日公園：8/1 (火) 9/5 (火)
- ・福岡市和白海岸：8/13 (日) 9/10 (日)
- ・福津市久末ダム：8/27 (日) 9/24 (日)

※上記の定例観察会以外に、月例観察会も実施されています。

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

※7月、8月の探鳥会はお休みです。再開は9月からです。

- ・小郡市花立山：9/3 (日)
- ・みやま市濃施山公園：9/10 (日)
- ・久留米市高良山：9/24 (日)

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>
筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
8月1日	8:28	5.3	9月1日	10:00	6.0
8月2日	9:23	5.6	9月2日	10:42	6.0
8月3日	10:12	5.8	9月3日	11:21	5.8
8月4日	10:57	5.8	9月13日	8:11	5.1
8月5日	11:39	5.7	9月14日	8:45	5.3
8月15日	8:26	5.0	9月15日	9:17	5.5
8月16日	9:03	5.2	9月16日	9:50	5.6
8月17日	9:37	5.3	9月17日	10:21	5.5
8月18日	10:09	5.4	9月18日	10:51	5.4
8月19日	10:39	5.4	9月19日	11:20	5.3
8月20日	11:08	5.3	9月27日	7:19	5.2
8月29日	7:26	5.1	9月28日	8:11	5.7
8月30日	8:23	5.5	9月29日	8:58	6.0
8月31日	9:14	5.9	9月30日	9:42	6.1

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

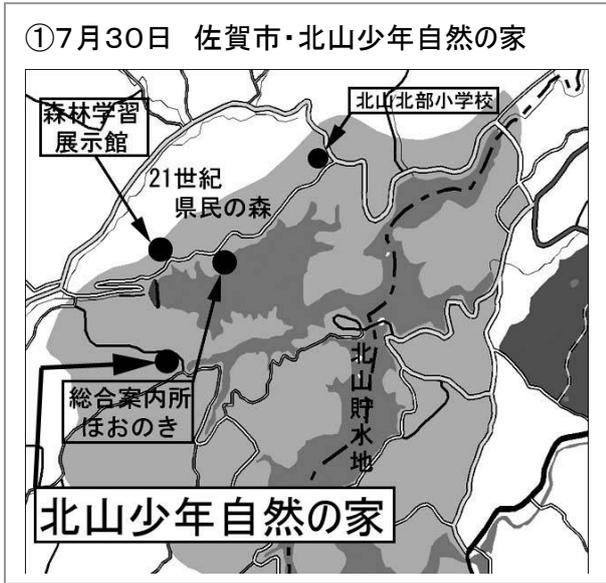
満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)



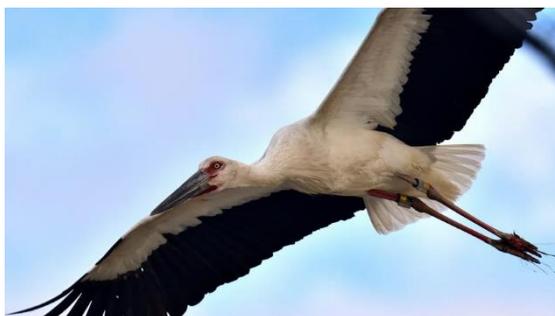


探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡！



今月の“旬?のトリ” 白石町産こうのとりの



写真提供：平野裕美子さん、秀島泉さん、水田稔さん



探鳥会などのご案内 (2023年7月末～9月)

①7月30(日) 北山少年自然の家 探鳥会(佐賀市富士町)

[時間&場所] 8:00 佐賀市富士町大字関屋の
北山少年自然の家駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 「キジ」や「サシバ」などの里山の鳥たちを
観察します。

③8月11日(祝・山の日) 雲仙・あざみ谷探鳥会(長崎県雲仙市)

[集合] 後日、お知らせいたします。
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 水場を訪れる小鳥たち観察します。
なかなか姿の見れない鳥が間近に見れます。
※雨天中止。雲仙までレンタカー乗り合わせ。
参加希望者は8月8日までに担当の宮原さん
までご連絡ください。(都合により当初の7/23
予定から延期しました)

⑤9月3日(日) ツバメのねぐら 観察会(佐賀市)

[集合] 18:00 佐賀市川副町の
大説間公民館 駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 繁殖を終え渡り前に河川敷の葦原で、
ねぐら入りする「ツバメ」数千羽を観察します。
夏の夕暮れの空を乱れ飛ぶ「ツバメ」の群れは
圧巻です。

②8月6日(日)室内学習会

[集合] 13:00 佐賀市東与賀町の東よか干潟
ビジターセンター「ひがさす」研修室
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[内容] *会員学習会* 野鳥に関する知識を
深めます。参加費無料。

④8月20日(日) ⑥9月17日(日) 東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[集合] (8/20) 9:00 (9/17) 8:00
東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 繁殖を終え、渡りはじめた「シギ・チ」を
観察します。

⑦9月23日(日) 鏡山・ハチクマの渡り 観察会(唐津市)

[集合] 8:00 唐津市鏡の鏡山 駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 越冬地への渡りのため、鏡山上空を通過
する「ハチクマ」を観察します。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト
(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は
宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡
をして下さい。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 のNHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>